



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

2021年度 第3四半期 決算説明会資料

2022年2月3日
株式会社UACJ



1. 2021年度 第3四半期業績

2. 構造改革の進捗

3. 2021年度 通期業績見通し

4. サステナビリティへの取り組み

5. ご参考データ

1. 2021年度 第3四半期業績



業績 サマリー

経常利益 360億円(前年同期比 +366億円)

■ 数量：前年同期比 大幅増

- UATH^{*1}(タイ)、TAA^{*2}(米国)の缶材が引き続き増加
- 自動車を中心とした輸送用機械向けは需要回復により、増加

■ 経常利益：前年同期比 大幅増

◎増益要因

- 国内事業業績改善(コロナ影響回復含む)
- UATH業績改善
- TAA業績好調継続
- 棚卸資産影響の好転

△減益要因

- エネルギー単価の上昇
- 物流費の高騰

*1 UACJ (Thailand) Co., Ltd..

*2 Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.

第3四半期 業績

(単位:億円)	2020年度 3Q累計 (A)	2021年度 3Q累計 (B)	増減 (B)－(A)
連結売上高	4,074	5,627	1,553
連結営業利益	31	428	397
棚卸資産影響前 連結経常利益	23	156	133
棚卸資産影響額	△ 29	204	233
連結経常利益	△ 6	360	366
連結当期純利益	△ 47	232	279
Adjusted EBITDA	310	450	140

※ 連結当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益

※ Adjusted EBITDA: EBITDA - 棚卸資産影響

セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)	2020年度 3Q累計 (A)		2021年度 3Q累計 (B)		増減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	3,414	73	5,023	467	1,609	394
加工品・関連事業	1,221	△ 7	1,186	3	△ 35	10
(調整額)	△ 561	△ 35	△ 582	△ 41	△ 21	△ 6
合計	4,074	31	5,627	428	1,553	397

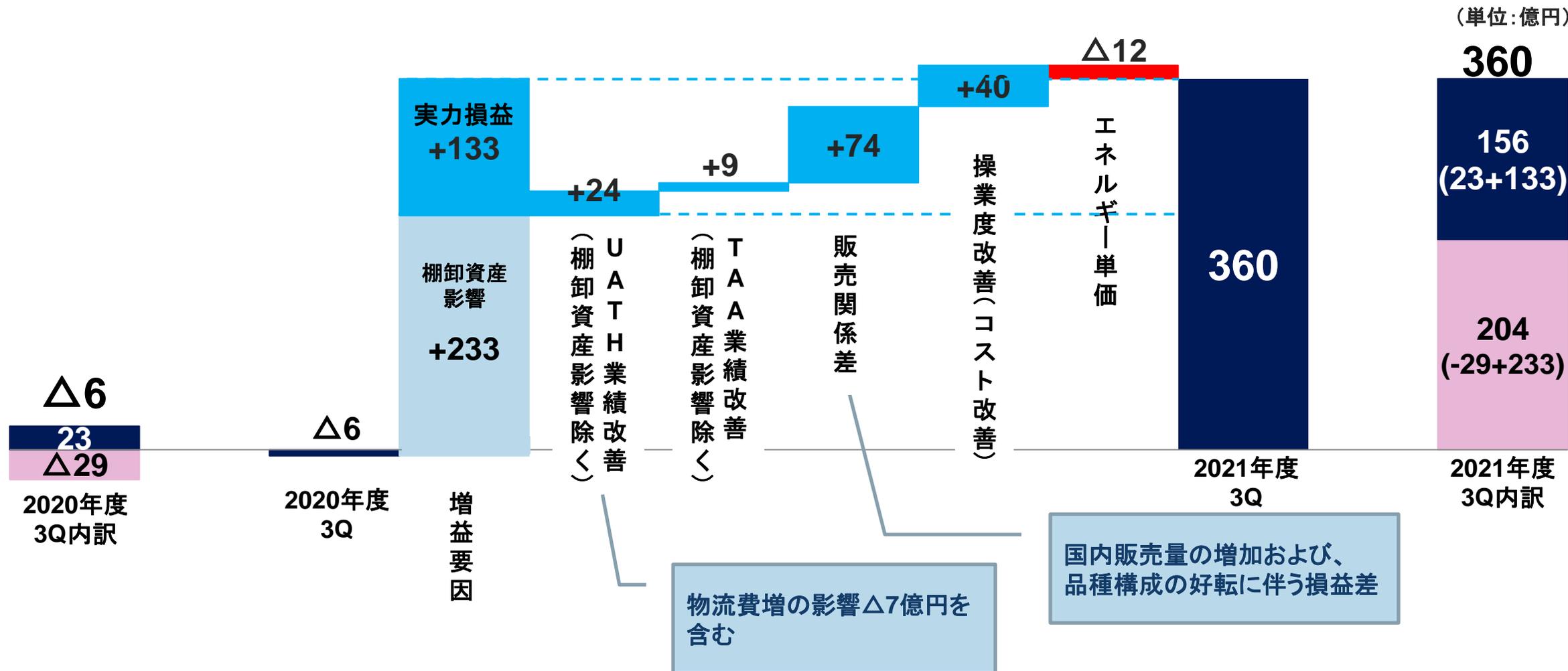
アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品 種	2020年度 3Q累計 (A)	2021年度 3Q累計 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	525	609	84
箔 地	38	43	5
I T 材	19	11	△ 9
自 動 車 材	83	105	21
厚 板	28	39	11
その他一般材	119	160	40
合 計	813	966	153
	〔 国内市場向け 324 海外市場向け 489 〕	〔 国内市場向け 355 海外市場向け 611 〕	〔 国内市場向け 31 海外市場向け 122 〕

連結経常損益分析 (2020年度 3Q累計 → 2021年度 3Q累計)

△6億円 (2020年度 3Q累計) → 360億円 (2021年度 3Q累計)



連結貸借対照表

販売の回復、地金価格の継続的な上昇により棚卸資産等が増加

(単位: 億円)

	21/3末	21/12末	21/3末比 増減額
現金及び預金	281	271	△ 10
受取手形及び売掛金	1,200	1,387	187
棚卸資産	1,317	1,867	550
その他流動資産	148	279	131
有形・無形固定資産	4,003	3,904	△ 99
投資その他の資産	381	384	3
資産合計	7,330	8,092	762
支払手形及び買掛金	1,011	1,165	154
短期借入金	1,100	1,319	219
長期借入金	2,257	2,062	△ 195
その他	996	1,297	301
株主資本合計	1,775	2,000	225
その他包括利益・非支配株主持分	190	251	61
負債及び純資産合計	7,330	8,092	762

アルミ地金等
価格上昇による増加

設備投資額
(検収ベース)
154億円

連結キャッシュフロー計算書

アルミ地金相場の上昇による運転資金が増加するも、有利子負債の圧縮を進める

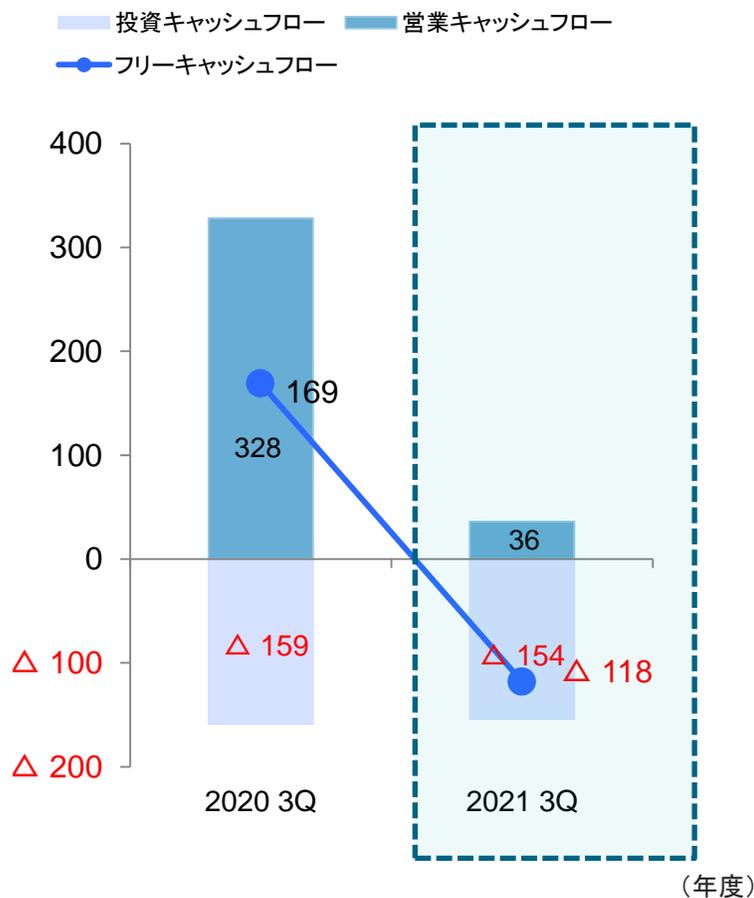
2021年度3Q 連結キャッシュフロー(概算)

(単位:億円)

税引前利益	362
減価償却費(のれん含む)	255
アルミ地金価格等の上昇による 運転資金の増加他	△ 581
営業キャッシュフロー計	36
設備投資 他	△ 154
フリーキャッシュフロー	△ 118
その他財務CF	86
現預金増減(△は増加)	10
有利子負債の増加	△ 23
(うち外貨借入金為替換算差)	△ 24)

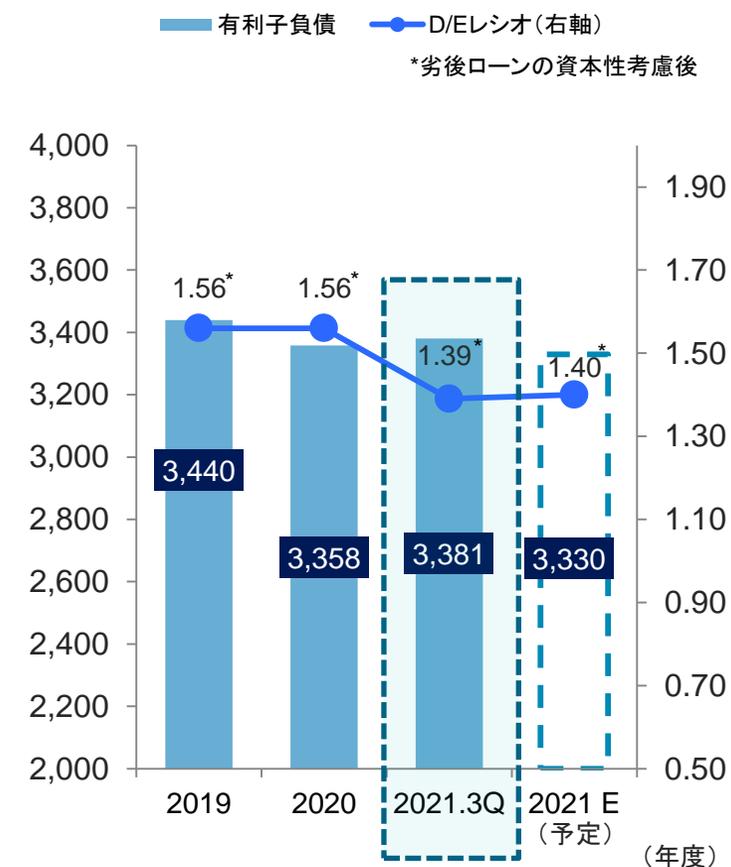
連結キャッシュフロー 推移

(単位:億円)



有利子負債残高・D/Eレシオ

(単位:億円)

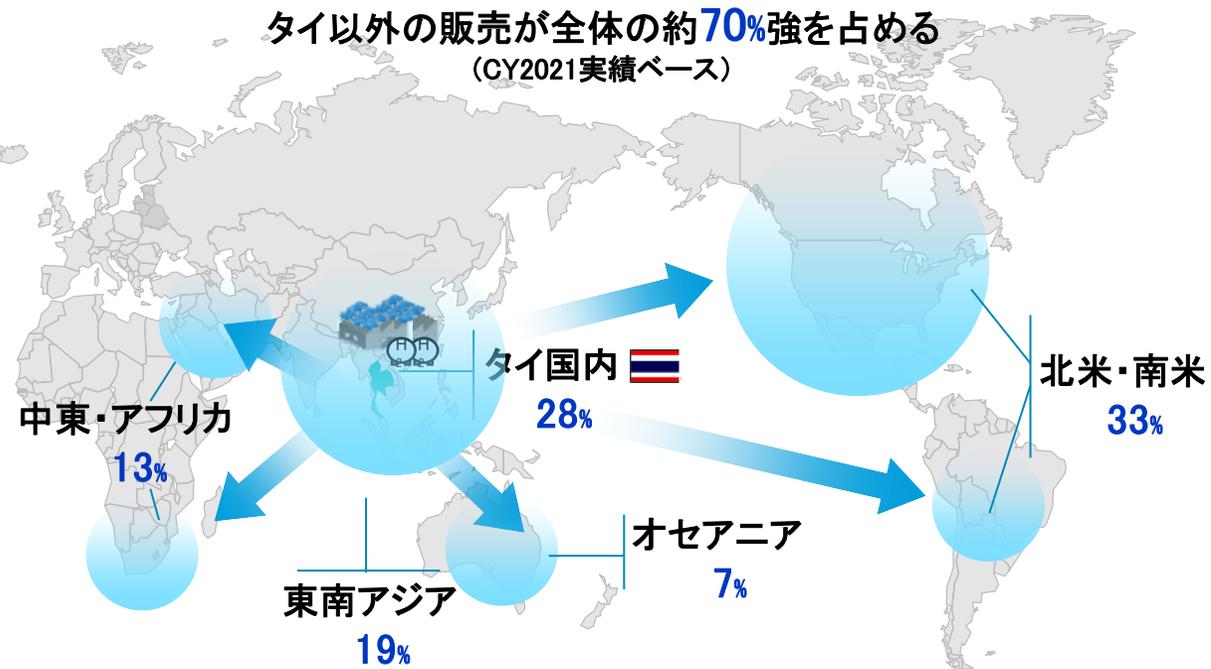


タイ(UATH)の状況 ~2021年度 3Q総括

旺盛な需要環境を取り込む生産・販売力の確立により、経常利益黒字化

販売展開エリアの販売比率(世界25カ国)

タイ以外の販売が全体の約70%強を占める
(CY2021実績ベース)



通期業績の収益下振れ要因

- エネルギー単価の高騰
- 海運運賃を始めとした物流コストの高騰
- 添加金属の高騰

物流コスト、添加金属の高騰リスクについては、顧客との契約スキームの見直しを実施中

3Q 総括

需要 : 缶材、自動車熱交材、エアコンフィン材共に、引き続き、需要は堅調

生産量 : 約28千t / 月 (3Q累計:1~9月)

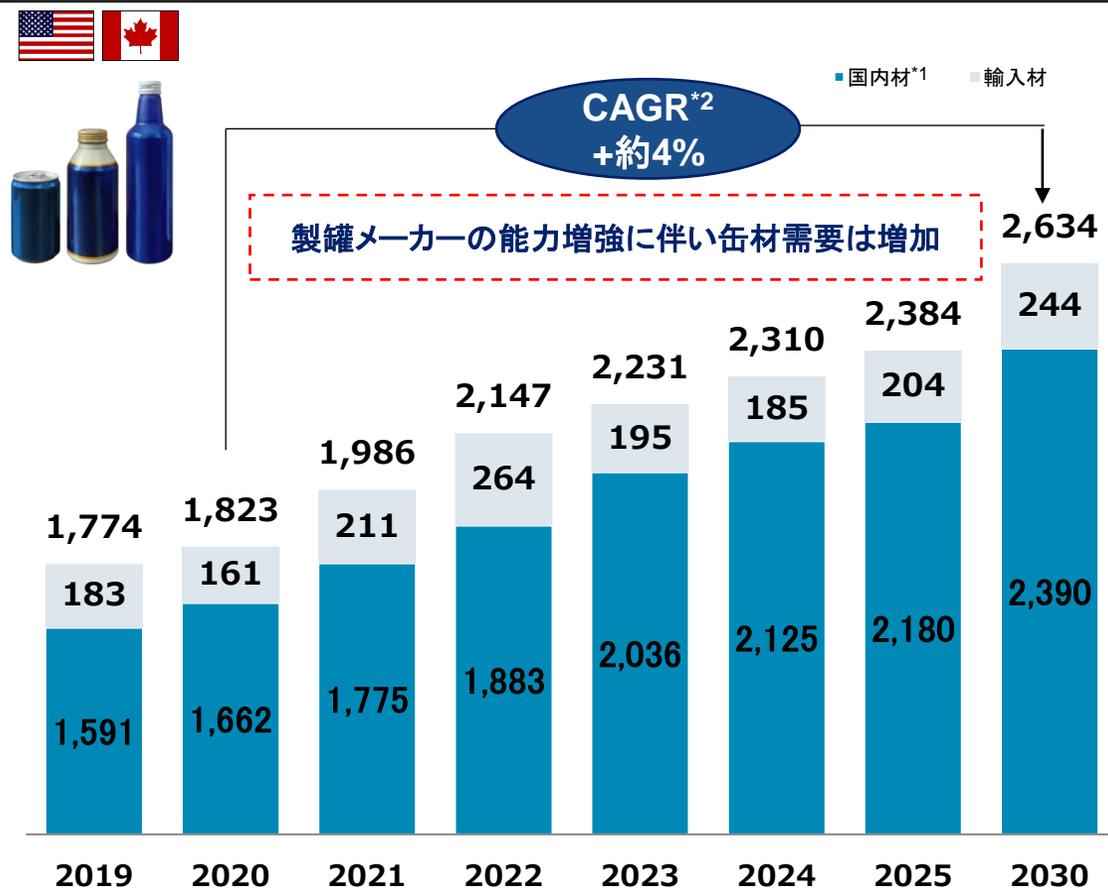
販売量 : 約29千t / 月 (3Q累計:1~9月)

損益	(億円)		
	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	前年同期比
売上高	468	957	489
営業利益	△ 30	61	91
経常利益	△ 37	18	55
棚卸資産影響前 経常利益	△ 29	△ 5	24

米国(TAA)の状況 ~2021年度 3Q総括

経常利益は旺盛な北米缶需要を取り込むことにより前年同期比大幅増

米国 & カナダ 缶材供給バランス(千トン)



出典: CRU Can Stock Market Outlook 20213Q

*1 国内材は米国圧延メーカーの全生産量予測量から米国&カナダ外への輸出を除いた数量

*2 CAGR 複数の期間に渡る増加率を単位期間あたりの増加率で表したものの、年平均成長率

3Q 総括

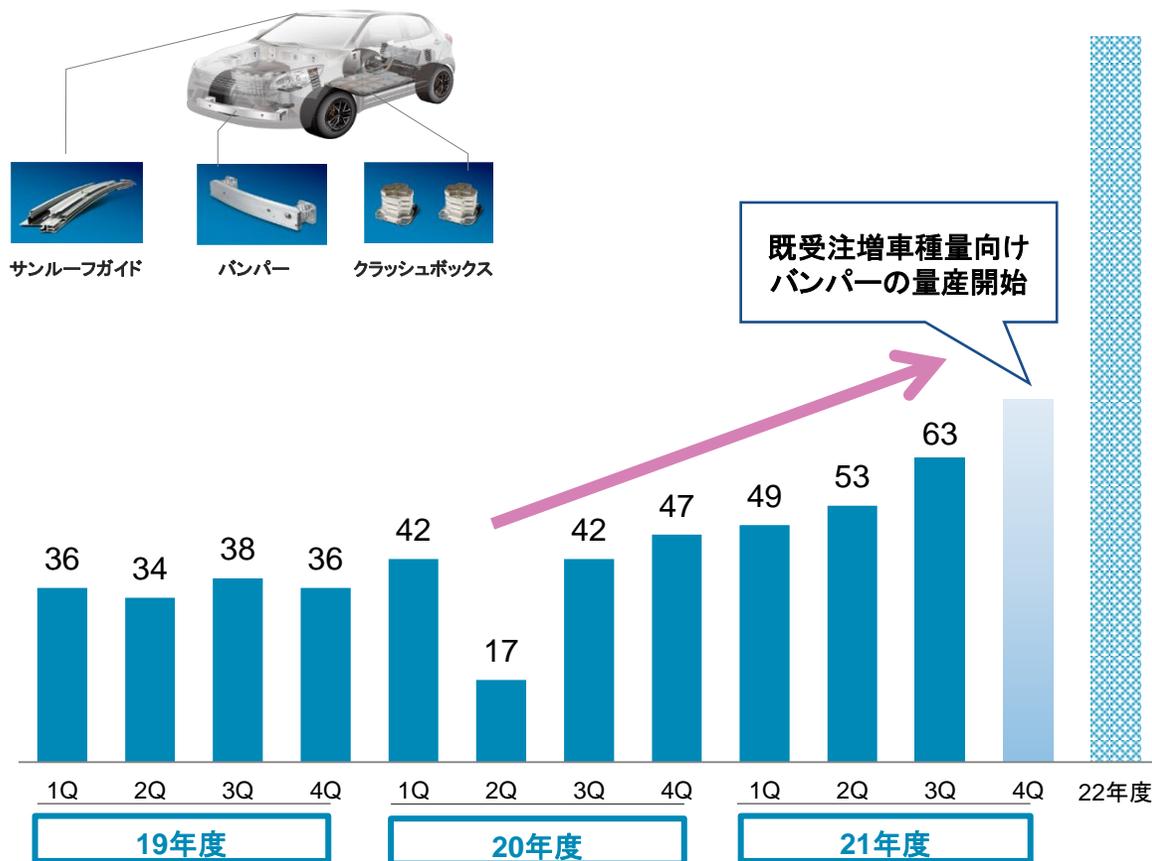
- 缶材需要 : 旺盛な需要環境継続
- 販売量 : 約42千t / 月 (3Q累計: 4月~12月)
- 生産能力 : 約450千t / 年体制確立
- 増産対応 : ローガン工場の設備増強の検討開始

損益	(億円)		
	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	前年同期比
売上高	995	1,712	717
営業利益	77	223	146
経常利益	60	205	145
棚卸資産影響前 経常利益	63	72	9

米国(UWH*1)の状況 ~2021年度 3Q総括

日米大手OEM向けアルミ構造材の量産開始により4Q黒字化へ

UWH 売上高推移(単位・億円)



既受注増車種向け
バンパーの量産開始

3Q 総括

- 需要** : EV市場の拡大傾向は継続も、足元はコロナ影響及び、半導体不足の影響が顕在化
- 販売** : 新興EVメーカー向けを中心に増加も地金高騰、コロナ影響、半導体不足等の影響が発現
4Qより、既受注増車種向けバンパーの量産開始で巻き返し図る
- 生産体制** : アリゾナ州新工場は稼働準備が整う
顧客の新工場の稼働待ち

	(億円)		
	20年度 3Q*2累計	21年度 3Q*3累計	前年同期比
売上高	101	165	64
営業利益	△ 20	△ 17	3
経常利益	△ 22	△ 19	3

*1 UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.

*2 20年度3Q…2020年1月～9月

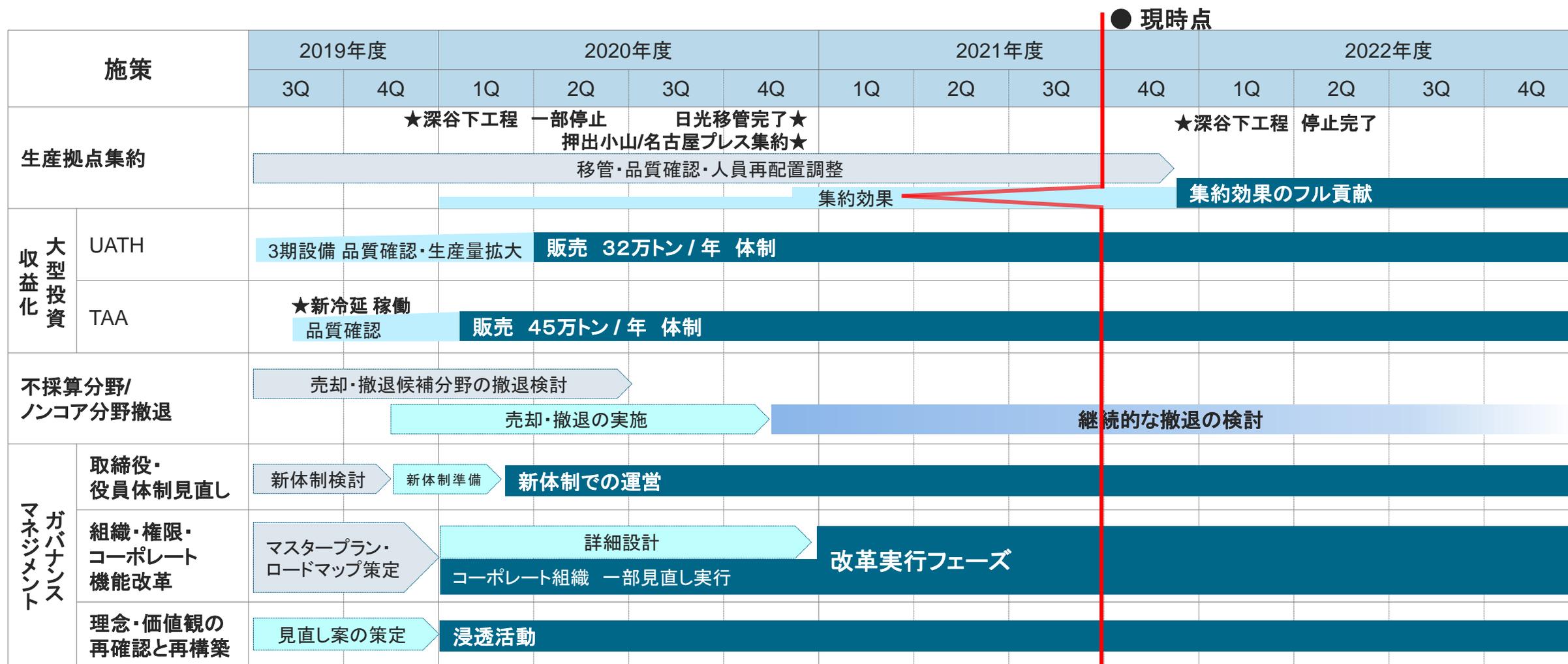
*3 21年度3Q…2021年4月～12月

2. 構造改革の進捗



構造改革の進捗

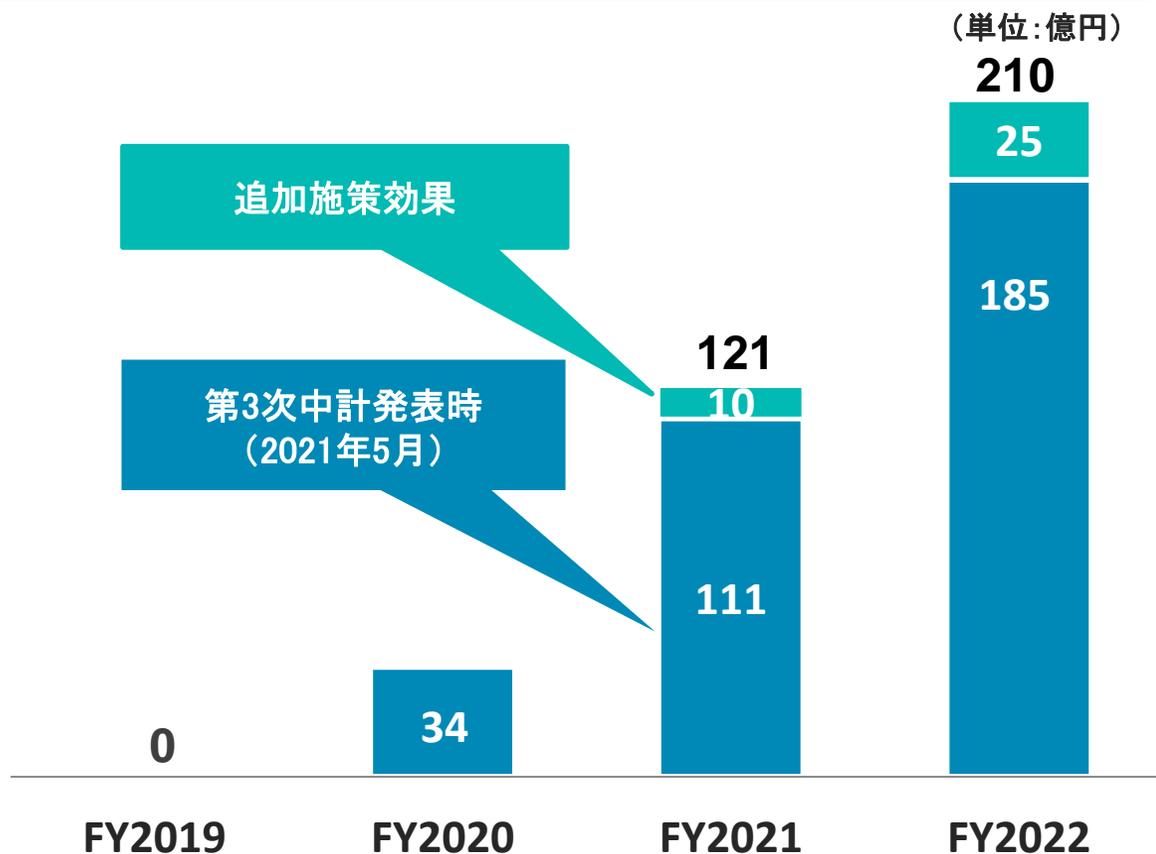
各施策はロードマップに沿って計画通りに進捗



構造改革施策の効果

コロナ影響により生産拠点の集約効果が一部遅延継続も、追加施策実施で補う

構造改革効果の推移



*1 UMP UACJ Marketing & Processing
 *2 タイ押出加工 UACJ Extrusion (Thailand)
 *3 中国・天津押出子会社 日鋁全綜(天津)精密業有限公司

主な施策の取り組み進捗

- **生産拠点の集約化による固定費削減・稼働率向上**
 - ・日光製造所閉鎖→自動車熱交材のUMP*1への集約 → 完了
 - ・深谷製造所下工程停止 →名古屋・福井へ集約 → 予定通り停止
 - ・押出小山/名古屋 プレス集約と最適化 → 活動中
- **採算性の向上**
 - ・注力・成長分野への対応 → 活動中(計画通り)
 - ・低採算分野の是正・撤退 → 活動中(大半は実施済)
 - ・価格適正化 (追加施策) → 活動中(計画通り)
- **選択と集中**
 - ・タイ押出加工*2 アユタヤ工場閉鎖 → 完了(2022年1月)
 - ・中国・押出子会社*3 出資持分一部譲渡手続き → 完了(2021年12月)
- **最適生産体制の構築**
 - ・自動車材の生産性向上 → 計画通り
 - ・福井新CALP(自動車材仕上げライン)活用による製造所間の品種/工程分担の見直し、最適化 → 遅れて進捗
- **間接費用の削減**
 - ・間接人員の削減等 → 計画通り
 - ・IT化投資等による業務プロセスの改善 → 活動中(計画通り)

3. 2021年度 通期業績見通し



2021年度 通期業績見通し

(単位:億円)	2021年度 (5月時見通し) (A)	2021年度 (8月時見通し) (B)	2021年度 (11月時見通し) (C)	2021年度 (最新見通し) (D)	2020年度 (E)	増減 (D)－(A)	増減 (D)－(B)	増減 (D)－(C)	増減 (D)－(E)
連結売上高	6,600	7,000	7,500	7,500	5,698	900	500	0	1,802
連結営業利益	220	330	500	500	111	280	170	0	389
棚卸資産影響前 連結経常利益	99	134	210	180	62	81	46	△ 30	118
棚卸資産影響額	61	116	190	220	△ 2	159	104	30	222
連結経常利益	160	250	400	400	60	240	150	0	340
連結当期純利益	80	120	200	230	△ 33	150	110	30	263
Adjusted EBITDA	508	549	630	630	447	122	81	0	183

3. 2021年度 通期業績見通し

アルミ板 品種別売上数量(最新見通し)

(単位:千トン)

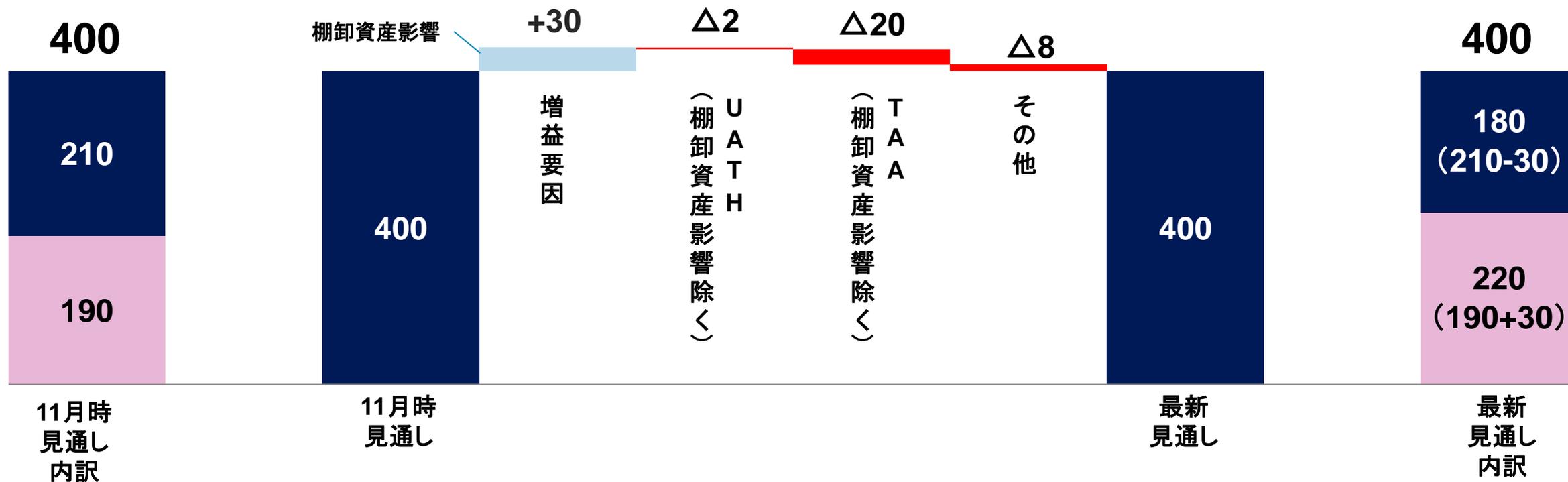
品 種	2021年度 (5月時見通し) (A)	2021年度 (8月時見通し) (B)	2021年度 (11月時見通し) (C)	2021年度 (最新見通し) (D)	2020年度 通期 (E)	増 減 (D)－(A)	増 減 (D)－(B)	増 減 (D)－(C)	増 減 (D)－(E)
缶 材	845	847	842	844	693	△ 1	△ 4	2	151
箔 地	59	58	59	57	52	△ 2	△ 1	△ 2	5
I T 材	19	18	17	14	25	△ 5	△ 3	△ 2	△ 11
自動車材	155	157	148	142	123	△ 13	△ 15	△ 6	19
厚 板	49	51	53	54	42	5	2	0	12
その他 一般材	201	211	212	219	180	18	8	8	40
合 計	1,328 国内市場向け 505 海外市場向け 824	1,342 国内市場向け 504 海外市場向け 838	1,330 国内市場向け 492 海外市場向け 838	1,329 国内市場向け 486 海外市場向け 843	1,113 国内市場向け 441 海外市場向け 673	1 国内 △19 海外 19	△ 13 国内 △18 海外 5	△ 1 国内 △6 海外 5	216 国内 45 海外170

連結経常損益分析 (2021年度11月見通し → 2021年度最新見通し)

400億円 (2021年度11月時見通し) → 400億円 (2021年度最新見通し)

前提条件	11月時前提	最新前提
LME	上期)実績 下期) 2,600ドル/t	→ 3Q累計)実績 4Q) 2,900ドル/t
ドバイ原油	80\$/B	→ 75\$/B
為替レート	114円/US\$	→ 114円/US\$

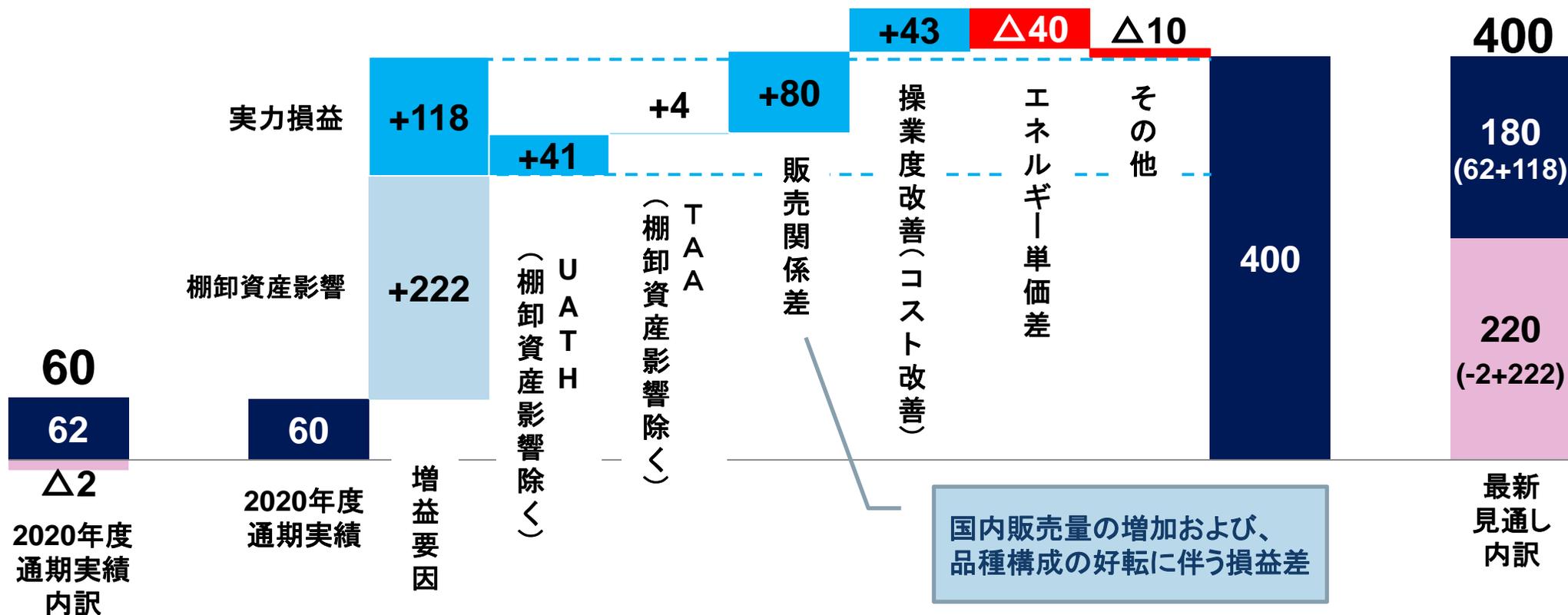
(単位:億円)



連結経常損益分析 (2020年度 → 2021年度最新見通し)

60億円 (2020年度) → 400億円 (2021年度最新見通し)

(単位:億円)



設備投資・減価償却費

減価償却費の約7割が設備投資額の上限
気候変動対策等へ一定額を配分し、計画的に進める

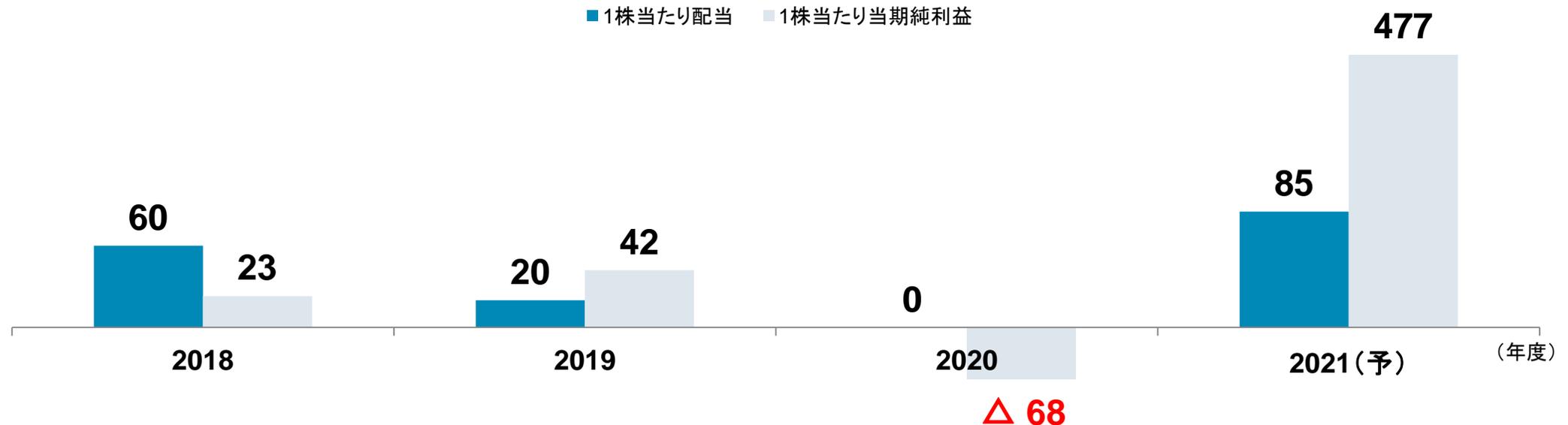
(単位:億円)		2020年度 3Q累計	2020年度 通期	2021年度 3Q累計	2021年度 見通し
		設備投資	一般投資	72	109
戦略投資	54		72	53	88
合計	125		181	154	298
減価償却費		250	334	255	349

株主還元

1株当たり配当金は85円で据え置く

- 還元方針 : 長期的な総還元性向は30%以上を目標とする
- 配当 : 連結配当性向20~30%を目途に、安定的かつ継続的な配当を目指す
- 株式価値の向上 : 確実な利益・キャッシュフローの確保、資本市場との対話で価値向上を目指す

1株当たり配当 / 1株当たり当期純利益(円)



外部環境の変動と当社の対応

外部環境の変動に柔軟に対応し、損益影響を最低限にとどめるべく施策を実行

外部環境の変動	当社事業へのリスク	対応
半導体の不足 サプライチェーン混乱の影響	自動車材、自動車部品等、自動車向けビジネス全般の販売量減による売上高減少	自動車関連を中心に国内外共に、お客様の生産調整の影響を受ける。お客様の生産状況を注視しながら、お客様の要望に迅速に対応していく
添加金属の調達リスク 添加金属の価格高騰リスク	マグネシウム、メタルシリコン等、添加金属の調達及び、価格高騰による収益圧迫	添加金属の調達は目途が立つ市場価格に連動した価格スキームの導入を検討（主要なお客様とは合意済み）
物流費の高騰	コンテナ価格高騰による海上輸送コストの高騰	お客様と物流費を販売価格に転嫁出来る契約への変更交渉を継続（主要なお客様とは合意済み）
新型コロナウイルスの感染拡大	当社および、お客様工場のロックダウンによる工場一時閉鎖や、稼働率の低下を起因とする販売量減と売上高の減少	BCPにより感染影響を最小化させる
北米飲料缶需要の拡大	新規投資時期の後ずれによる販売機会の損失	ローガン工場のアルミ板材生産能力向上に向けた設備増強を検討中

4. サステナビリティへの取り組み



タイ(UATH) クローズドループリサイクルへの取り組み

UBC購入、クローズドループリサイクル促進に関する覚書を締結



環境大臣会見(2020年11月)

2020年11月

「環境配慮した飲料容器のリサイクル促進に向け、政府/環境団体/民間器企業が連携すること」覚書締結

タイ天然資源環境省にて、上記覚書を取り交わす
循環型社会の実現、環境に配慮した飲料用パッケージのリサイクル推進に向けて、各所の協力・連携を確立させる目的



覚書調印式(2021年12月)

2021年12月

「UBC購入、クローズドループ促進に関する覚書」締結

タイ飲料メーカーグループにて容器を回収し、スクラップ処理を施したのちUATHにて圧延、製缶メーカーへ納品する取り組みを開始することを謳う



アルミ缶のリサイクル循環の促進を通じ、ASEAN域内での環境負荷の低減をめざす

タイ製缶大手メーカーと協力し、タイ政府・業界関係者を巻き込んだ活動「Can to Can Journey」を展開中

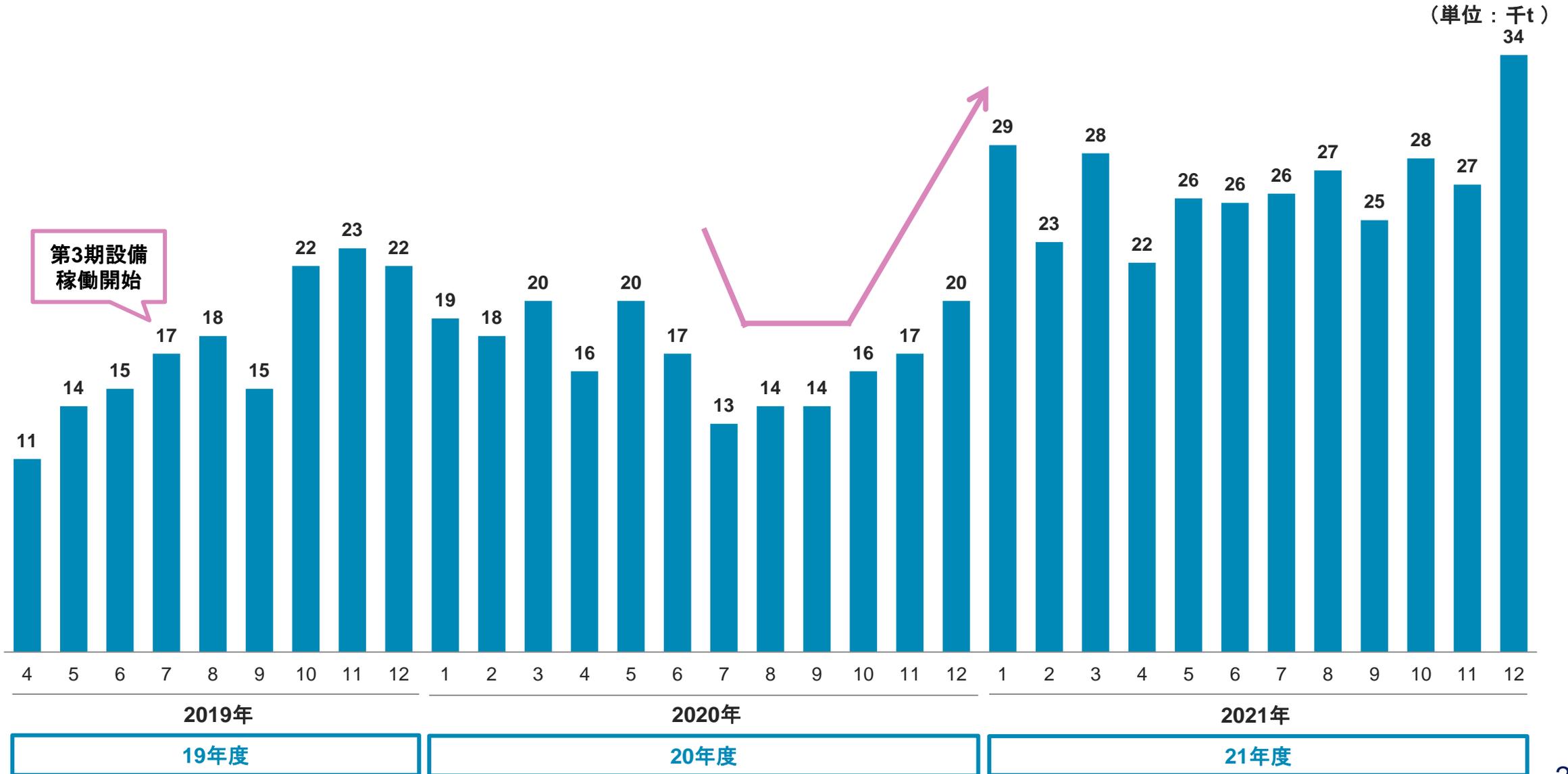
5. ご参考データ



セグメント別 売上高・営業利益 見通し

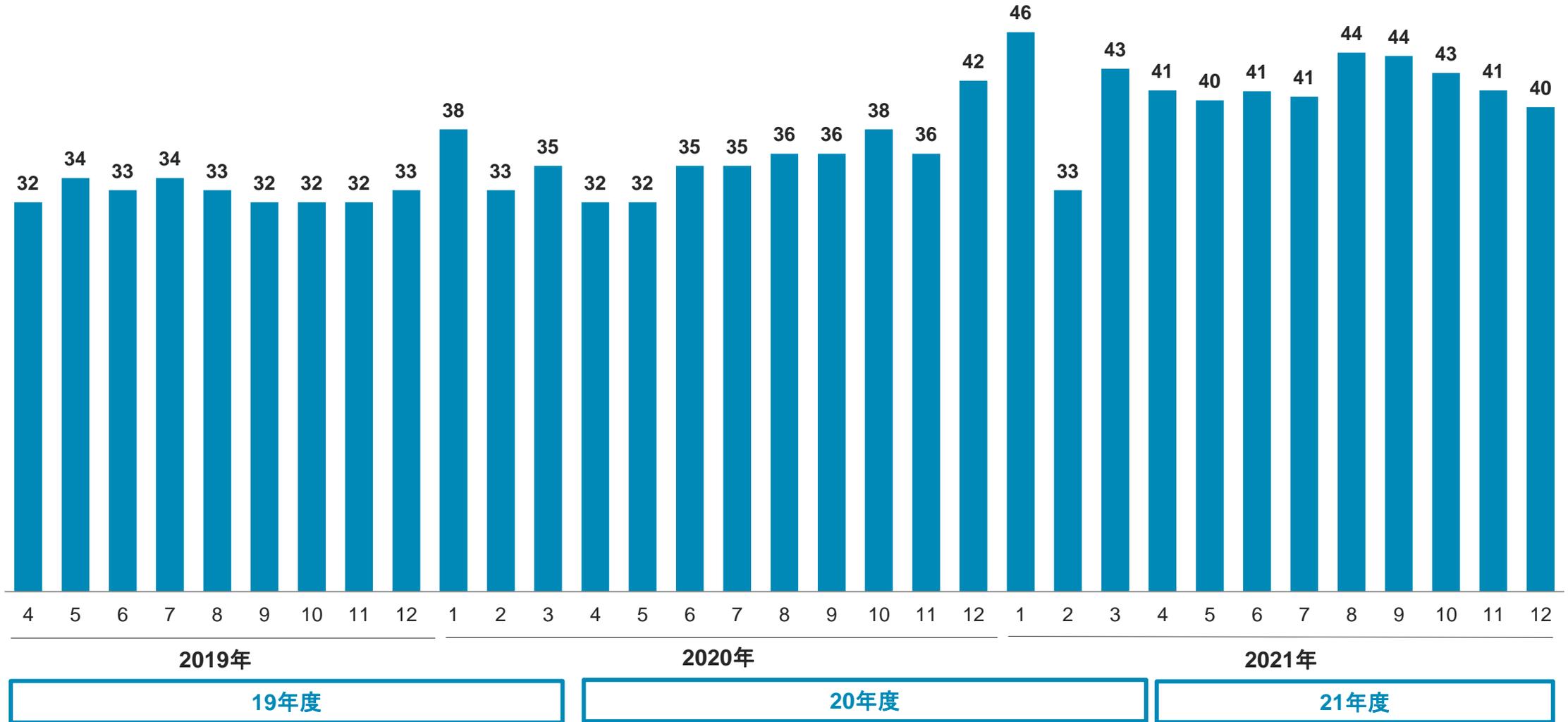
(単位:億円)	2021年度 (5月時見通し) (A)		2021年度 (8月時見通し) (B)		2021年度 (11月時見通し) (C)		2020年度 (D)		増減 (C) - (A)		増減 (C) - (B)		増減 (C) - (D)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ア 庄 ミ 品	5,920	266	6,430	377	6,660	542	4,778	172	740	276	230	165	1,882	370
加 工 品 ・ 関 連 事 業	1,480	9	1,300	9	1,580	11	1,651	△ 6	100	2	280	2	△ 71	17
(調整額)	△ 800	△ 55	△ 730	△ 56	△ 740	△ 53	△ 731	△ 54	60	2	△ 10	3	△ 9	1
合 計	6,600	220	7,000	330	7,500	500	5,698	111	900	280	500	170	1,802	389

UATH 月次販売量推移



TAA 月次販売量推移

(単位：千t)



国内収益構造改革と、選択と集中

国内収益構造改革及び、選択と集中による事業再編は実行フェーズから成果出しフェーズに

国内収益構造改革の進捗

生産拠点の集約

- **深谷製造所下工程停止**
- 日光製造所閉鎖
- 押出小山/名古屋プレス集約と適正化

最適生産体制・品種構成改善

- コロナ禍でも需要が増加する商材の重点販売
- 価格是正交渉の継続
- 国内4製造所の生産モニタリング強化

間接費削減

- 間接部門の業務効率化に向け、BPR*1を実施
- コーポレート機能の集約/スリム化に向けた最適体制を検討
- 経費コントロールを強化し、経費総額を抑制

選択と集中による事業再編

国内事業

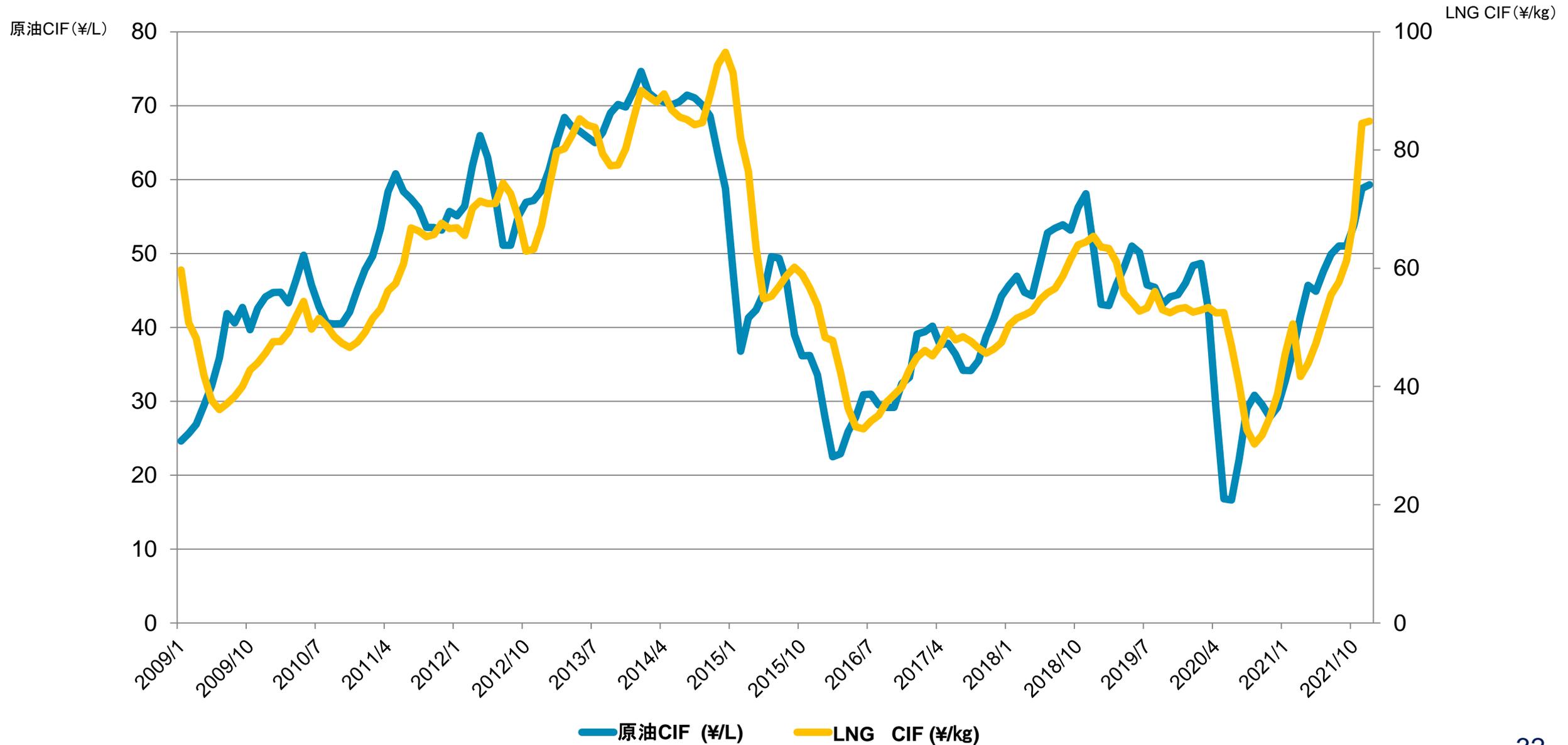
- 伸銅事業の売却
- 日光製造所 閉鎖
- 金属加工深谷工場 閉鎖
- 金属加工大阪工場 閉鎖
- 物流子会社株式譲渡 等

海外事業

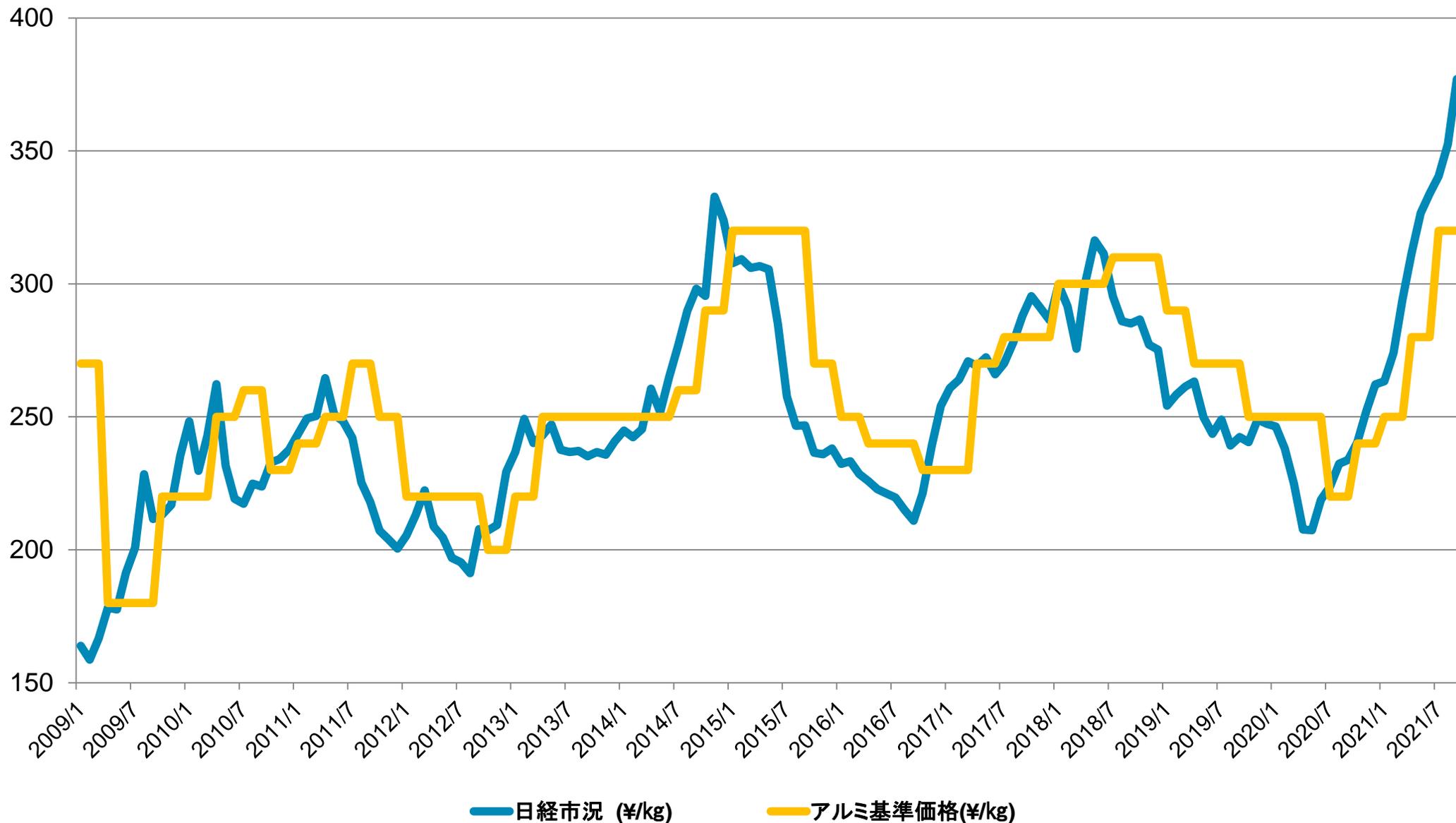
- インドネシア押出会社 譲渡手続き 完了
- タイPF熱交*2事業 譲渡決定
- タイ押出加工 アユタヤ工場閉鎖
- **中国・押出子会社 出資持分一部譲渡手続き 完了 等**

*1 BPR ビジネス・プロセス・リエンジニアリングの略称。社内の業務内容やフロー、組織の構造などを根本的に見直し、再設計すること

燃料単価推移



アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



諸元と感応度

	2019年度 (3月末)	2020年度 (3月末)	2021年度 (12月末)	経常利益への 感応度
アルミ地金 日経平均 (円/kg)	245	243	355	10円/kg上昇した場合 → +20~30億円/年
LME (米\$)	1,749	1,802	2,603	\$100/t上昇した場合 → +22~35億円/年
為替 (円/米\$)	109	106	111	ほぼ影響なし ・燃料単価、添加金属:円高が有利
為替 (円/タイバーツ)	3.5	3.4	3.4	・ロールマージン、為替換算差:円安 が有利
原油 (ドバイ:米\$)	60	45	72	10ドル上昇した場合 → Δ10~15億円/年

棚卸資産影響

アルミ圧延事業における棚卸資産影響

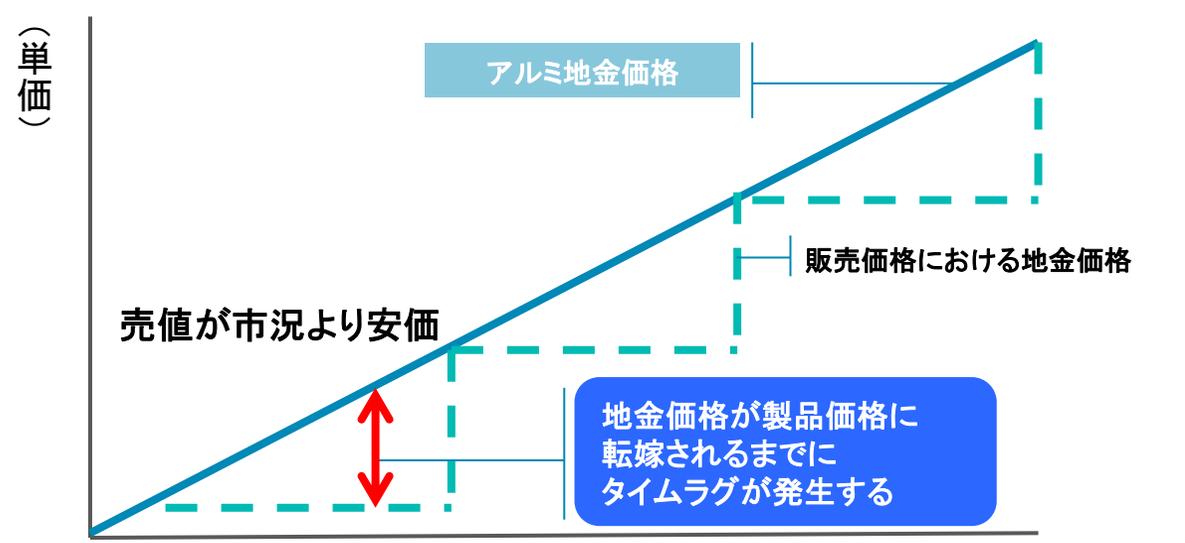
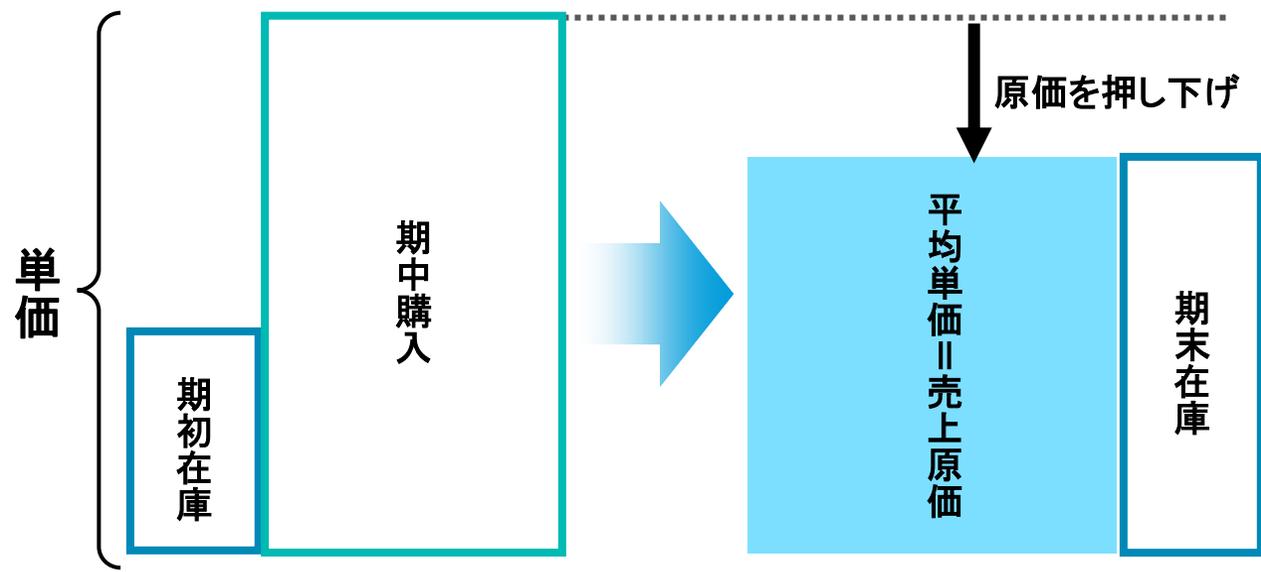
- ① 平均法による材料費計算
期首在庫と期中購入アルミ地金の加重平均で、材料費を計算(期首在庫が影響)
- ② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差

①+ ②= 棚卸資産影響

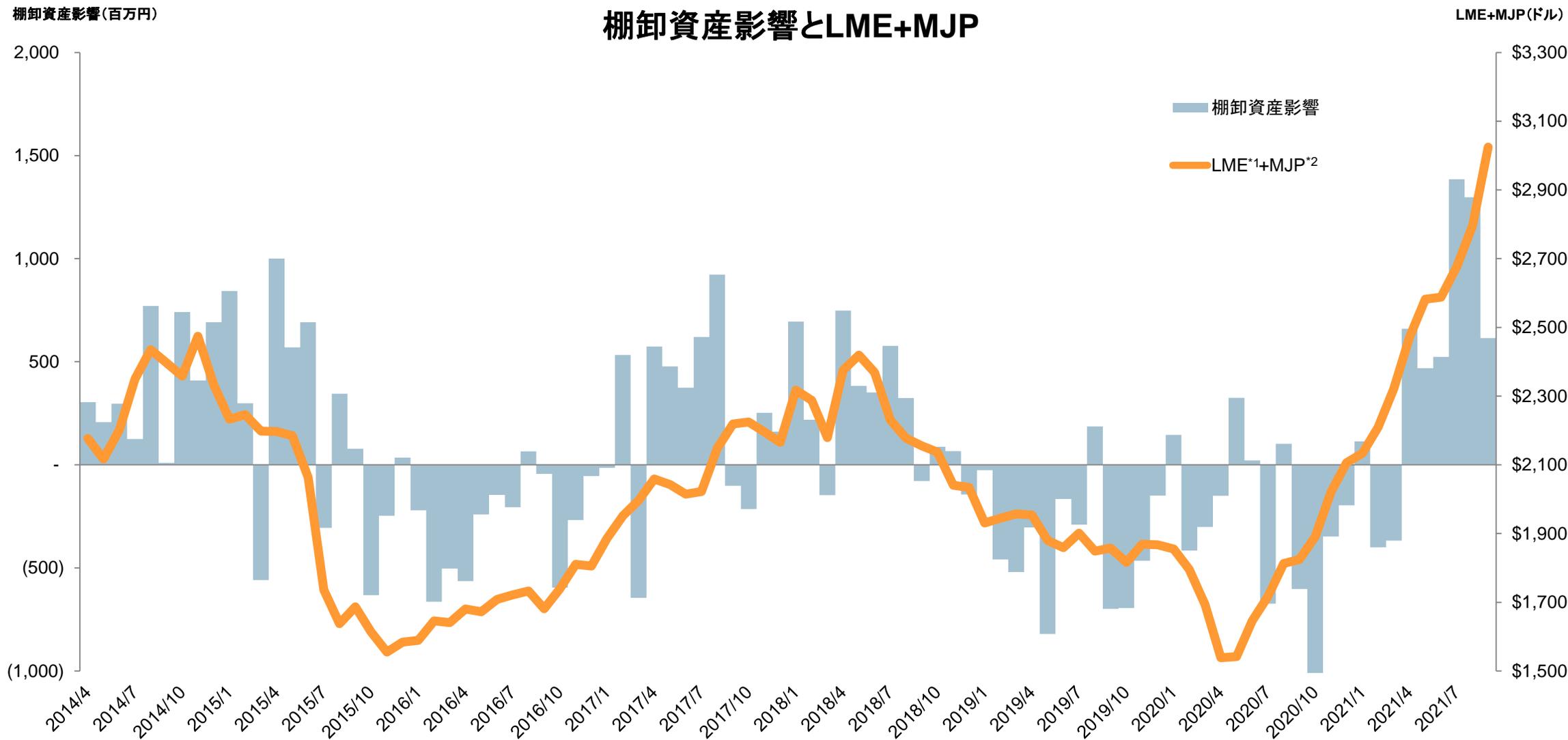
【2021年度:アルミ地金価格上昇】

① 平均法による材料費計算

② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差



棚卸資産影響と地金価格相場の関係性



*1 LME ロンドン金属取引所(London Metal Exchange)に上場しているコモディティ
 *2 MJP 対日アルミ新地金プレミアム

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部 TEL : 03-6202-3603 FAX : 03-6202-2023
URL : <http://www.uacj.co.jp>
(東証1部 コード番号 : 5741)



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界